

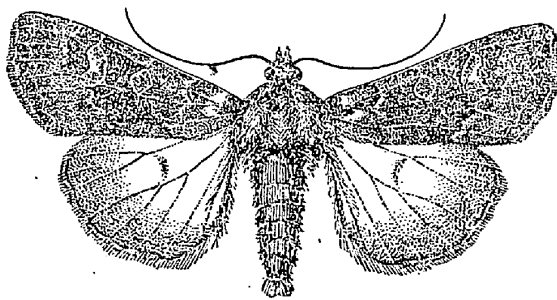
日本産夜蛾科の未記録種

稲 葉 直 通

Sugfamily AGROTINAE 紋夜蛾亞科

(1) *Euxoa adumbrata* (EVERMAN)

雄。口吻は充分に發達し、唇鬚の第二節は前方に於て帶灰黑褐色の毛を以て縁取らる。頭部は黑褐色、觸角の基部は黑色にして末端は漸次褐色となる。胸部全體は帶灰黑褐色なれども前胸及び後胸には多少散開せる冠毛を有す。脚は黑褐色にして各節毎に黄色線あり。脛節には鋭き針を有す。腹部は淡黄土色に灰色毛を生ず。前翅は中央部及び縁毛に近き部分は殆ど黑色なり、前線(subbasal line)は白色にして前縁より不規則に屈折して中脈襞にて終り、前中線(中央前線)は灰色を呈し前縁より中室下縁まで外方に彎曲し第一脈にて内方に屈折して内縁に達し、楔狀紋(claviform)は幾分黑色にて顯はれ、眼狀紋(orbicular)及び腎臟紋(reniform)は黑色及び白黄色の輪畫を有し内は極めて黑褐色なり、後中線(中央後線)は鋸齒狀にして外方は少しく帶灰黑褐色を呈し前縁より第四脈まで外方に彎曲しそれより内縁に斜走す、亞終縁脈(subterminal line)は灰色にして波狀を呈す、縁線は淡黄色、縁毛は褐色なり。後翅



第一圖 *Euxoa adumbrata*.

の外縁一帯は濃褐色に光澤を有し、中室端は明瞭なる濃褐色にして翅脈は褐色なり、縁線は淡黄色を呈し縁毛は白色なり。翅の裏面は光澤を有し前縁及び外縁一帯は褐色を散布す。翅の開張、40mm。

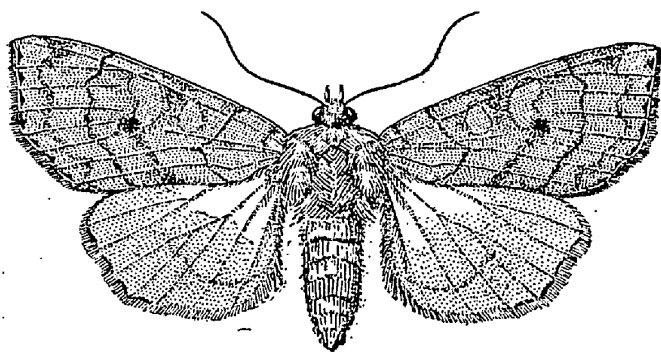
採集地。昭和二年六月下旬群馬縣白根溫泉附近にて夜間採集す。

分布。ロシア、アルメニア、東部シベリア、本州。

Subfamily ACRONYCTINAE. 劍紋蛾亞科

(2) *Enargia paleacea* (ESPER.)

雌。頭及び胸部は橙黄色若くば黄褐色を帶ぶ、胸部下面は淡黄色にして背面は橙黄色を呈す。脛節及び跗節は黄色に赤色毛を混す。腹部は殆んど白色なり。前翅は橙黄色に褐色の細點を一帯に散布す、前線は褐色にして前縁より中脈まで達す、前中線は前縁より中室下縁まで外方に斜走し之れより内方に屈曲して内縁に達す、眼狀紋は圓形にして圓周は褐色よりなる、腎臟紋は外部の少しく凹みたる橢圓形にして通常黒點をその下部に備ふ、中線は不明瞭なる褐にして前

第四圖 *Enargia paleacea*

中線に略々平行して屈曲す、褐色の後中線は第六脈上及び第四脈にて外方に彎曲す、後中線の外側は褐色なれども前線より第七脈までの間は中方に褐色を呈し第

六脈及び第四脈上にて外方に彎曲す、縁線は赤褐色にして内側の各翅脈間に黒點を配列す、縁毛は褐色なり。後翅は黄色に極めて薄き褐色の彎曲線を有す。翅の裏面は、前後翅共に淡黄色を呈し中室の先端に點を有す、後中線は前縁に近き程明瞭に顯はる。翅の開張、雄 42mm. 雌 48mm.

大正十五年八月及び昭和二年八月日光にて採集す。

分布。歐洲、ロシア、西部及東部シベリア、本州。